

報道関係各位 <お知らせ>

阪急阪神ホールディングス株式会社

従業員とともに阪急阪神沿線の市民団体を応援する 第11回「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」の助成対象団体が決定しました！

「地域環境づくり」と「次世代の育成」に取り組む合計15団体に総額950万円を助成

阪急阪神ホールディングスグループでは、第11回「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」による市民団体の助成プログラムとして、昨年9月より助成を希望する団体を公募し、今般、応募総数73団体の中から「地域環境づくり」と「次世代の育成」に取り組み、国連が提唱するSDGs^(※1)のうち、目標④「質の高い教育をみんなに」もしくは目標⑩「住み続けられるまちづくりを」につながる活動を行う合計15団体^(※2)に対し、総額950万円を助成することを決定しました。



私たちは、未来へつなぐ
「環境づくり」と「人づくり」に貢献します。

この助成プログラムは、当社グループの従業員の募金と当社からの上乗せ寄付を原資に、沿線の市民団体を助成するもので、当社グループの社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」の一環として、2009年度から行っています。過去11年間の助成の累計（今回の助成分を含む）は、延べ139団体・7,979万円となっており、当社グループでは、今後も市民団体への支援を通じて沿線地域の活性化やSDGsの達成に貢献できるよう、本プログラムに継続的に取り組んでまいります。

（※1）SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟国が2030年までに17分野で社会課題の解決を達成することを目標に掲げている。

（※2）15団体のうち、10団体は今回新規に公募した団体の中から決定している。残り5団体は前回からの継続助成団体（前回、最長3年間助成することを決定した団体）である。

概要は次のとおりです。

■第11回の助成対象団体 15団体（部門分野別 団体名50音順）

<新規助成団体> 【地域環境づくり】※（ ）内の市名は団体事務所の所在地

- ① 公益社団法人 大阪自然環境保全協会（大阪市）
- ② NPO法人 暮らしづくりネットワーク北芝（箕面市）
- ③ 一般社団法人 コミュニティマネジメント協会（大阪市）
- ④ NPO法人 摂津市人材サポート・ビューロー（摂津市）
- ⑤ NPO法人 Peace & Nature（神戸市）

【次世代の育成】

- ⑥ NPO法人 アントレプレナーシップ開発センター（京都市）
- ⑦ お金で学ぶさんすう（京都市）
- ⑧ NPO法人 ここ（吹田市）
- ⑨ NPO法人 happiness（京都市）
- ⑩ NPO法人 阪神つばめ学習会（西宮市）

<継続助成団体> 【地域環境づくり】※（ ）内の市名は主な事業の実施場所

- ① 一般社団法人 タウンスペース WAKWAK（高槻市）

【次世代の育成】

- ② NPO法人 チャイルド・ケモ・ハウス（神戸市ほか）
- ③ 認定NPO法人 D×P（神戸市ほか）
- ④ NPO法人 寺子屋プロジェクト（京都市ほか）
- ⑤ 六甲山を活用する会（神戸市ほか）

■助成金総額

950万円（内訳：従業員の募金475万円、当社からの上乗せ寄付475万円）

※助成金は、2020年3月27日に寄贈済み。各団体への助成額は添付資料参照。

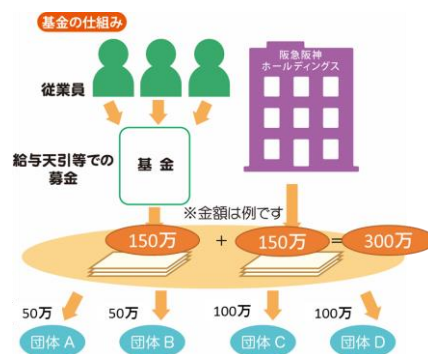
■「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」による市民団体の助成プログラムについて

阪急阪神ホールディングスグループの従業員の募金による積立金と、当社からの同額の上乗せ寄付を原資として、「地域環境づくり」または「次世代の育成」に取り組む阪急阪神沿線の市民団体を助成します。

プログラムの特徴は、①助成対象を阪急阪神沿線で活動する団体に特化していること、②助成金の半額がグループ従業員の募金によること、③当社グループが広報面でも協力すること、の3点です。

現在、約1,500名のグループ従業員が参加しています。

（ホームページ: <https://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/kikin.html>）



■本プログラムに込めた思い

どのまちにも社会における課題の解決に熱心に取り組む市民団体はありますが、その多くは規模が小さく、認知度も低いことから、ボランティアの人材がなかなか集まりません。また、活動を応援したい気持ちを持つ人でも、知らない団体に寄付することにはためらいがあるため、市民団体の活動資金は不足しがちです。

本プログラムでは、市民が身近な市民団体を応援するきっかけとなるよう、グループ従業員の募金を原資の一部として助成を行うとともに、グループが持つ交通媒体等を利用して助成する市民団体の活動を広報し、沿線の市民に紹介しています。

以 上

【添付資料】第11回「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」の助成対象団体の概要

【リリース配布先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ

このお知らせに関するお問い合わせ先

阪急阪神ホールディングス株式会社 グループ経営企画室 広報部 TEL. 06-6373-5092

第 11 回「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」の助成対象団体の概要 ※部門分野別 50 音順

＜新規助成団体＞

※（ ）内の市名は団体事務所の所在地です。

※助成額は団体の申請に基づいて審査・決定しました。

■地域環境づくり

	団体名	活動概要	助成額
①	公益社団法人 大阪自然環境保全 協会 (大阪市)	～大阪府の自然環境の保護・保全・回復～ 自然環境の破壊が深刻化する中、1976 年の協会設立以降、大阪府域の自然の保護・保全と自然観察を両軸として活動している老舗の団体です。身近な自然を愛し、守り育てたいと願う市民が運営しており、ボランティアグループが中心となって、地域やテーマごとの多様な自然観察会や、定期的な動植物調査など、自然に親しみ守る心を育てる普及活動（環境学習）を年間 200 回近く開催しています。そのほか、里山保全活動や自然環境保全に携わる人材養成講座・研修も主催しています。	50 万円
②	NPO 法人 暮らしづくりネット ワーク北芝 (箕面市)	～地域通貨を活用したコミュニティの活性化～ 箕面市・萱野にある北芝地域において、地域の課題を解決するためのプランを住民とともに事業化する団体です。箕面市で流通している大人も子どもも使える地域通貨「まーぶ」の調査研究を中心に、「まーぶ」を活かした子ども・若者向けの仕事体験事業を実施しています。そのほか、地域の誰もが参加できる地域共生食堂や障がい児通所支援事業など、子ども・若者を中心に高齢者まで幅広い世代を対象として、住民とともに多角的に事業を展開しています。	50 万円
③	一般社団法人 コミュニティマネ ジメント協会 (大阪市)	～自転車視点ですずめる安全なまちづくり～ 大阪市東淀川区淡路・新大阪周辺地区を拠点として、安心・安全なまちづくりを行っています。様々な自転車教室を実施し、まちづくりに自転車視点を取り入れているところが特徴です。近年では「タンデム自転車」などを活用して誰もが安全に移動できるインクルーシブなまちづくりにも注力しています。そのほか、団体が開発・製作した安価なドアセンサー（一定期間ドアの開閉がないとブザーが鳴る）を、単身独居者宅のドアに設置することで住民同士が見守り合うきっかけをつくったり、子ども達に農業・むら生活体験を提供したりと、地域に必要とされる活動を幅広く行い、コミュニティの活性化に寄与することを目指しています。	50 万円
④	NPO 法人 摂津市人材サポー ト・ビューロー (摂津市)	～資源の循環するまちづくり～ 1980 年代に、主婦が集まり、身近な暮らしの中から「ごみ」問題を取り上げ、牛乳パックの回収から活動を始めた団体です。回収したパックはリサイクルし、「ただいまロール」「おかえりティッシュ」として、摂津市内の公共施設で使用されています。そのほか、環境教育として紙すき体験や温暖化の影響を学ぶワークショップなどのイベントも行っています。また、地域の社会課題の解決を担う新たな担い手の育成のため、その発掘やネットワークの創出の場として「おむすびカフェ」を実施しています。	50 万円
⑤	NPO 法人 Peace & Nature (神戸市)	～グローバル視点で行う休耕田を活用したお米・野菜づくり～ 休耕田や空き家の増加が日本全体の課題となっている中、神戸市北区大沢町において、約 40 か国の国際色豊かなメンバーや企業など様々な人が集まり、休耕田を活用して、無農薬の安全・安心なお米や野菜づくりを行っています。また、空き家を再生した持続可能な生活のモデルづくりや六甲山での植樹に取り組んだり、ネイチャースクールなどの人間力を高めるプログラムを実施したりと、グローバルな視点で地球環境を良くしていくリーダーの育成を目指しています。	50 万円

■次世代の育成

	団体名	活動概要	助成額
⑥	NPO法人 アントレプレナーシ ップ開発センター (京都市)	～社会変革できるこどもの起業教育～ 社会的課題を解決するために行動できる能力である「アントレプレナー シップ」溢れる若者の育成に取り組む団体です。地域の賑わいづくりを 目的に、商店街を拠点にイベントの開催や商品の開発・販売をする「堀 商キッズチャレンジ」や、未来の仕事の形にすることの起業村「キッ ズベンチャータウン」、世界で共有する社会問題の解決に高校生が挑戦す る国際競技など様々な事業を主催し、将来、こども達が社会に必要な仕 事を創り出していくための能力を培う支援を行っています。	50万円
⑦	お金で学ぶ さんすう (京都市)	～特別な支援が必要なこどもの金銭教育～ インターネットの普及により、近年、特別な支援を必要とする成人の中 で、携帯ゲームへの多額課金など新たなお金のトラブルが増加していま す。この現状に対し、こどもの頃からの金銭教育の必要性を感じ、その 教育プログラムを開発し、学校と連携して授業や教員研修などを行って います。また、現金の使い方を学べる教材アプリを開発・提供したり、 買い出し・調理を通じて数の感覚や計算方法を習得する実践的な講座を 実施したりと、お金の知識や使い方を身につける支援をしています。	50万円
⑧	NPO法人 ここ (吹田市)	～不登校のこども達対象のフリースクールの運営～ 不登校のこども達が、学校に行かなくても教育を受ける場が保障され、 安心して過ごすことができるフリースクールを運営しています。フリー スクールでは、学習のサポートだけでなく、遊び・イベントを通じて自 立のサポートも行っています。また、保護者や地域住民、教育関係者の 交流の場をつくったり、フリースクールの生徒が登壇するシンポジウム を開催したりと、フリースクールの認知を高め、不登校のこども・保護 者に対する理解を深める活動も実施しています。	50万円
⑨	NPO法人 h a p p i n e s s (京都市)	～こどもの居場所をつくるこども食堂～ 京都市において、生活困窮世帯や一人親世帯といった家庭環境に関係な く、こども達を健全に育てるため、行政・地域・企業・NPOなどと連 携し、こどもやその家庭をサポートするとともに、社会的孤立を防ぐま ちづくりを行う団体です。月4回のこども食堂と学習支援の開催を中心 に、2018年からはフルタイムでの勤務が難しい人を雇用してカフェをオ ープンし、居場所づくりに努めています。そのほか、こども支援に関す る啓発活動や里親制度推進の取組も積極的に行っています。	50万円
⑩	NPO法人 阪神つばめ学習会 (西宮市)	～経済的に厳しいこどもへの無料学習支援～ 兵庫県では、生活保護受給世帯の高校進学率が一般世帯よりも1割程度 低くなっており、所得の格差が教育の格差に直結しています。この現状 を改善するため、登録数200名を超える多くのボランティアの支えによ り、無料の学習支援塾を西宮市で週2回、神戸市灘区で週1回開講して います。東京・八王子の「八王子つばめ塾」をモデルに、関西では当団 体が先駆けとなって活動を開始しており、現在は京阪神間で「つばめ」 を冠する無料塾が7団体に広がっています。	50万円

＜継続助成団体＞

※（ ）内の市名は主な事業の実施場所です。

※助成額は団体の申請に基づいて審査・決定しました。

■地域環境づくり

	団体名	事業概要	助成額
①	一般社団法人 タウンスペース WAKWAK (高槻市)	～地域住民の声を反映したコミュニティの再生～ 大阪北部地震後の災害支援を通じて、情報格差の課題や、独居高齢者、障がい者、一人親世帯などの要援護者が社会的孤立に陥りやすいという状況がわかりました。そこで、高槻市がすでに方針を決定した市営住宅の建て替えに向け、こども・若者・高齢者など、まちに住む多様な人たちの声（ニーズ）をひろい上げ、まちづくりプランを策定し、今後のまちづくりの計画へとつなげます。また、建て替え後の地域コミュニティの中心となるコミュニティスペースをたち上げ、多様なセクターとの協働によりハード面・ソフト面からコミュニティの再生を図る予定です。	100万円

■次世代の育成

	団体名	事業概要	助成額
②	NPO法人 チャイルド・ ケモ・ハウス (神戸市ほか)	～重い病気をもつこどもと家族のサポーター育成事業～ 重い病気をもつこどもと家族にとって、治療以外にも日々の生活、友達関係、通学など多岐にわたる支援が必要です。そのため、どこにも相談できないと思ってしまうような問題でも「あのね」と気軽に相談を始められ、その中からニーズをひろい、分野を超えた支援をコーディネートできる人材が求められています。その重要性はまだ広く理解されていません。そこで、こどもや家族からの相談を聞き、ニーズをコーディネーターにつなぐ人材「地域あのねサポーター」と分野を超えた支援をコーディネートする人材「あのサポplus」を育成する予定です。	70万円
③	認定NPO法人 D×P (神戸市ほか)	～定時制高校と連携した高校生のつながる場と新しい働き方づくり～ 定時制高校に通う高校生に「つながる場」を届け、一人一人の若者が自分の未来に希望が持てることを目的とした事業を行います。具体的には、定時制高校で社会人ボランティアと高校生が対話を通じてつながりをつくる授業を行うとともに、校内にて継続的に学生と関わることができる「居場所事業」を実施します。さらに高校生一人一人の段階やニーズにあわせて、進路相談や仕事体験ツアーを実施し、中退率・進路未決定率の高い定時制高校に通う10代がつながりを得て卒業できるようにする予定です。	100万円
④	NPO法人 寺子屋 プロジェクト (京都市ほか)	～魅力的なプログラミング体験の提供と開発教材のオープンソース化～ プログラミング教室の人気の高まっていますが、その多くが経済的にゆとりのある家庭向けのサービスとなっています。また、大多数の小学校で触れるプログラミングの内容は、非常に限定的なものになるとみられます。そこで、教育用ドローンを活用し、こども達が楽しめるプログラミング体験を提供するとともに、日常的に活用できる教材モデルを開発し、開発した教材をオープンソースとしてWEB上に無償で公開することで、全ての経済層のこども達がサービスを享受できるようにする予定です。	80万円
⑤	六甲山を 活用する会 (神戸市ほか)	～六甲山における自然体験プログラムの自主運営チームづくり～ 当団体では10年以上かけて国立公園内の六甲山上に自然体験ができる場として「まちっ子の森」を整備してきましたが、その管理・運営を次世代に継承していくことが今後の課題となっています。そこで、自然児を育む自然体験プログラム「まちっ子の森デー」の参加者を定着させるとともに、「まちっ子の森クラブ」を発足させ、登録者を募ります。その中から、運営に参加できる保護者グループを集め、ゆくゆくは「まちっ子の森」を自主管理する運営組織として、市民グループへの自立を図る予定です。	100万円